

教科名		【教科：書写】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		東京書籍	三省堂
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写テスト」が第1・2学年の各2か所に配置され、知識・技能をより深めることができる。 ・始筆、送筆、終筆の穂先の動きや、筆圧について視覚的に示されており、イメージしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「毛筆補充教材」には、同じ文字で楷書・行書の両書体で書かれた課題があって取り組みやすく、基礎・基本の定着とともに活用する力の育成にもつなげられる。 ・横書き(漢字、平仮名、算用数字、アルファベット)の書き方や配列について、書き込んで練習することができる。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活に広げよう」は、書写での学習成果を日常生活のどのような場面で生かせるか考えさせることができる。 ・「情報を整理した書き方」は、二つのノートを見比べ、よりよい書き方を考えさせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「グループ新聞を作ろう」は、作成までの手順が明確に示され、生徒たちが主体的にグループ新聞を作るときの参考となる。 ・「日常の書式」では、時候の挨拶が手書き文字で書かれており、日常生活において参考にしながら手紙を書くことができる。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「仕事の中の手書き文字」は、現代において手書き文字の大切さがどのようなところにあるか、生徒に考えさせることができる。 ・巻末の「書写活用ブック」は日常生活でよく使う書式の資料となっており、教科学習以外でも活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「身のまわりの文字」では、手書き文字や活字の変遷が載っており、現代における文字の活用についても知ることができる。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統的な用具・用材」では、筆・墨・硯・紙の伝統的な製造方法を学ぶことができ、伝統文化理解につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「四十七都道府県名」には地図や地域の特産物・イラストが掲載され、地域理解につながる。
B 使用 上の 便宜 につ いて	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆は、筆の穂先の写真が掲載され、自分の筆の動かし方をイメージしやすい。 ・毛筆から硬筆への学習の流れを示し、日常生活で使用する字体への意識を高められる。 ・QRコードを教科書の巻頭に提示し、各教材にはDマークを施してインターネットを活用して主体的に学習を進められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習の「書いて身につけよう」や「振り返ろう」は、学んだことを書き残すことによって自己の到達度を確認できる。 ・QRコードを基礎編に提示し、各教材にはDマークを施してインターネットを活用して主体的に学習を進められるよう配慮してある。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書・行書や毛筆・硬筆の構成・配列が基礎・基本の習得に重点を置いたものになっている。また、文化や芸術、日常生活につながる発展的学習資料も用意されており、生徒の学習状況が多様である多摩市の実態に即したものととなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書・行書や毛筆・硬筆の構成・配列が基礎・基本の習得に重点を置いたものになっている。また、文化や芸術、日常生活につながる発展的学習資料も用意されており、生徒の学習状況が多様である多摩市の実態に即したものととなっている。

教科名		【教科：書写】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		教育出版	光村図書
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・毛筆は、筆の穂先の写真が掲載され、自分の筆の動かし方をイメージしやすい。	・教科書から切り離せる「書写ブック」が授業と家庭学習での基礎・基本の定着に活用できる。 ・毛筆は、筆の穂先の写真が掲載され、自分の筆の動かし方をイメージしやすい。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・「さまざまな書く場面」は、日常生活でどのような点に注意して書くべきかを話し合ってまとめることで、生活に結び付けて学習することができる。 ・「情報を整理して、活動につなげよう」は、情報をまとめて書く際の方法が示され、日常生活に活用できる。	・課題に対して「考えよう→確かめよう→生かそう」など、思考・判断・表現の手順や活用場面が示されている。 ・「日常に役立つ書式」には、手紙や願書の書き方などが分かりやすくまとめられて掲載され、書写の学びを日常生活に生かすための工夫がなされている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・「学習を生かして書く―配列―」には、メモやレポート本文などの具体例が掲載され、学習活動を進めるときの参考となる。 ・コラム欄が掲載され、伝統・文化について理解を深めることができる。	・コラム欄では、文字の歴史や物語の伝承など伝統文化を学ぶことができる。また、「UD(ユニバーサルデザイン)書体って何だろう」の掲載により、日常生活で目にするUD書体に気付かせながら学習を進められる。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	・「多様な表現による文字」は、日常生活や伝統的な書画、工芸品などで見られる文字を紹介し、文字文化への興味につなげられる資料である。	・都道府県ごとの様々な石碑や標識などの身近な文字を探す学習「全国文字マップ」から、文字の使い分けやUD(ユニバーサルデザイン)書体の学習などにつなげ、持続可能な社会づくりに向けて課題解決力を育成できるよう工夫されている。
B 使用 上の 便宜 について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・手本には中心を示す線や点(・)が施してあり、文字の配置やバランスを意識して学習できる。 ・「漢字一覧表索引」は、漢字の字体が掲載されるページ、行数、段数が示され、生徒が自ら調べやすい便宜が図られている。 ・QRコードを教科書の初めに提示し、「まなび」リンクというウェブサイトを通して主体的に学習を進められる。	・手本に中心を示す印(▲)が施してあり、文字の配置やバランスを意識して学習できる。 ・各教材ごとにQRコードがあり、運筆動画等を参照して主体的な学習につなげられる。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・楷書・行書や毛筆・硬筆の構成・配列が基礎・基本の習得に重点を置いたものになっている。また、文化や芸術、日常生活につながる発展的学習資料も用意されており、生徒の学習状況が多様である多摩市の実態に即したものである。 ・コラム「日本建築と『書』」に記載されている写真を基に、修学旅行への動機付けができる。	・楷書・行書や毛筆・硬筆の構成・配列が基礎・基本の習得に重点を置いたものになっている。また、文化や芸術、日常生活につながる発展的学習資料も用意されており、生徒の学習状況が多様である多摩市の実態に即したものである。